

地震によるまちの被害 —大津町の被害状況—

※今後の調査により変更となる場合があります。



**震度
6 弱**

(県内最大震度7)

令和8年7月28日
午後4時27分に観測



罹災証明書申請
415 件

(令和8年9月8日時点)



避難者数
延べ261 人

7月28日～8月4日
初日は3避難所に計95人



公共施設・道路・
水道等にも被害

文化ホールや体育館、
道路、水道施設などで
被害が発生

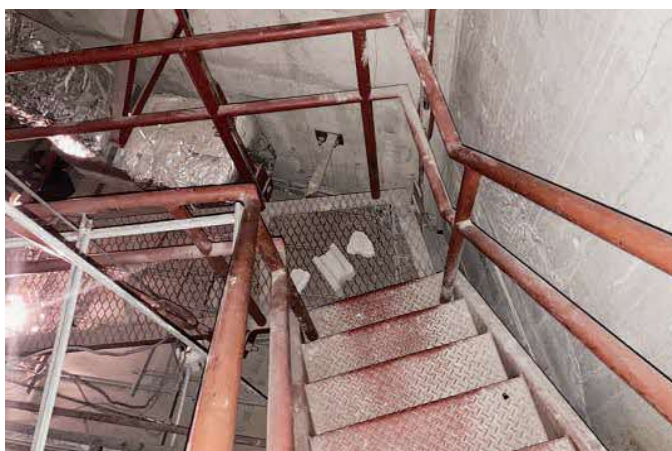
町内各地に残った地震の爪痕 —生活やインフラに大きな影響がありました—



国指定重要文化財 江藤家住宅「中の蔵」の崩落した土壁



天井の落下（町総合体育館サブアリーナ）



文化ホールの天井裏のブロック壁の一部の剥離と落下



美咲野小学校入口のインターロッキング破損

公共施設の利用休止について

一部施設で地震による損傷が確認されたため、利用の休止があります。安全が確認できた施設から順次利用を再開しています。最新の状況は町ホームページでご確認ください。

利用を休止している施設

- 楽善ふれあいプラザ
- 総合体育館 メインアリーナ・サブアリーナ
- 大津小学校 体育館

令和8年熊本地震 大津町の被害と復旧に向けて

7月28日、大津町で震度6弱を観測

今回発生した地震により住宅や道路、水道、公共施設などに被害が生じました。現在、町民の皆さまの生活は徐々に平穏を取り戻しつつありますが、復旧に向けた取り組みを引き続き進めています。

今号では、地震の被害状況と、皆さまからの温かい支援、そしてこれからのまちの歩みについてお伝えします。

暮らしにも影響 —発災からの主な対応—

地震発生直後から、町は関係機関と連携し、町民の皆さまの安全確保と生活支援に取り組みました。

7月28日
地震発生



午後4時27分、
地震発生。

避難所開設



町内の公共施設に
避難所を開設し、
避難者の受け入れ
を行いました。

給水対応



上水道がにごった
地域で給水車による
給水支援を
実施しました。

ワンストップ
相談窓口開設



罹災証明の申請や
生活再建の相談に
対応する窓口を
開設しました。

住家被害
認定調査と復旧へ



罹災証明書の発行に向けた
住家被害の認定調査や、そ
の後の生活支援、公共イン
フラの復旧などを順次実施
しています。



給水活動



役場一階に設営したワンストップ窓口



住家被害認定調査

地域内外の多くの皆さまに支えられました

地震発生後、消防団をはじめ、区長や民生委員、防災士など、地域の皆さまにさまざまな形で尽力をいただきました。また、町内の事業者や関係団体にも、応急対応や復旧にご協力いただいています。

町外からも、自衛隊をはじめ、警察・消防、国・県、他自治体などの関係機関から応援をいただくとともに、企業・団体・個人の皆さまから支援物資や寄附が寄せられました。多くのご支援に、心より感謝申し上げます。



自衛隊による給水支援



通信事業者による Wi-Fi の提供



寄せられた支援物資

支えられ、そして支える側へ

町では、被害の大きい他の自治体に対し、職員を継続的に派遣しています。これまでの経験を生かし、今、私たちも支える側として、被災地の復旧を応援していきます。

復旧・復興に 向けて

町は、町民の皆さまの一日も早い生活再建に向けて、引き続き関係機関と連携し、住宅・道路・水道などのインフラの復旧に全力で取り組んでいきます。

これからも、皆さまとともに、安心して暮らせる大津町を取り戻していきます。